

【目的】魚骨は、日本人にとって重要なCa源であるが、その栄養効果は明らかではなく現状では有効に食生活に利用されているとはいえない。そこで我々は、骨粗鬆症モデルラットを用い、魚骨由来のCaの栄養効果を他の天然物由来Caと比較、検討した。

【方法】6週令のSD系雌ラットに卵巣摘出手術を施し、0.01% Ca、0.3%Pを含む飼料で4週間飼育した、その後、1群8匹ずつに8群に分け、魚骨（タラ、サケ、ウナギ）、コウカ、卵殻、牛骨、乳清由来のCaならびに炭酸Caを各0.3%(P0.3%)含む試験食飼料で4週間飼育し試験食期間中のCa保留率、および飼育後の大腿骨強度、骨成分を測定した。

【結果】①各群のラットの飼料効率に差はなかった。

②試験食期間中のCaの保留率は、炭酸Ca群がやや高いものの、魚骨Ca群は他の天然物由来Ca群と同等の値であった。

③大腿骨破断強度はいずれの群でも差は認められなかった。

上記の結果より、魚骨Caは他の天然物由来Caと同程度の効果を持ち、Ca源として有効な食品素材であると考えられた。